

韓国

マクロ経済動向と今後の展望

韓国銀行（中央銀行）が9月5日に公表した2013年第2四半期の成長率（改定値）は、季節調整値で前期比1.1%（年率換算4.5%）で、前期の同0.8%から上昇した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同1.1%で前期の同▲0.1%からプラスに転じた。で固定資本形成は同2.2%で前期の同3.8%からは低下した。

第2四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で0.3%であった。月次では、6月は前月比▲0.2%、7月は同0.3%となっている。

第2四半期の失業率は季節調整値で3.1%であった。月次では、6月は3.2%、7月は3.2%となっている。

第2四半期の貿易収支（IMF方式）は158億ドルの黒字であった。月次では、6月は50億ドル、7月は57億ドルのそれぞれ黒字である。

対ドル為替レートは5月に1ドル=1,112ウォン、6月に同1,137ウォン、7月に同1,126ウォンと推移している。

消費者物価上昇率は、5月に前年同月比1.0%、6月に同1.0%、7月に同1.4%と推移している。生産者物価上昇率は、5月に前年同月比▲2.6%、6月に同▲1.4%、7月に同▲0.9%とマイナスで推移している。

韓国銀行は7月11日に経済見通しを発表し、2013年の成長率を2.8%、2014年を同4.0%と予測している。これらはともに4月発表の前回予測値から0.2ポイント上方修正されている。2013年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.1%で前回予測値から0.4ポイント、設備投資が1.8%で前回予測値から0.5ポイント、それぞれ下方修正された。一方、建設投資は4.5%で前回予測値から1.8ポ

イントの上方修正となっている。外需である輸出は5.1%で前回予測値から0.1ポイント下方修正された。

成長率の低迷により雇用面では状況が悪化する見通しである。2013年の失業率については3.2%とほぼ前年比横ばいとしているが、雇用者数の増加は2012年の44万人から、32万人に減少すると見込んでいる。

一方、2013年の消費者物価上昇率は1.7%で、前回予測から0.6ポイント下方修正された。また食品とエネルギーを除いたコア・インフレ率は1.6%と見込んでいる。

現代自動車グループのストライキ

8月14日、現代自動車の労働組合は経営側との賃金・労働協約交渉が決裂したことから、ストライキを含む争議行為に突入することを表明した。労組側は、基本給の13万498ウォン引き上げ、月給の800%相当の賞与支給などを要求した。ストライキは8月20日以降、時限ストなどの戦術で断続的に実施された。

9月6日の発表によれば、現代自動車労使は賃金・労働協約交渉に暫定合意した。賃金については9万7000ウォンの引き上げで合意と報じられている。

現代自動車では2009年から2011年まで3年連続でストライキなしで労使交渉がまとまってきたが、強硬路線の現労組執行部が発足した昨年以降、2年連続でストライキが行われた。同社はサムスン電子と並び韓国を代表する輸出企業であるが、昨年米国市場で燃費データの改ざんが発覚し、また大規模なリコールも発生するなど問題が生じている。円安でライバルである日本車の価格競争力が回復する中、労使関係の不安定化は経営にさらなる逆風となる可能性がある。

（ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	12年7-9月	10-12月	13年1-3月	4-6月	5月	6月	7月
実質国内総生産 (%)	2.3	0.3	6.3	3.6	2.0	0.0	0.3	0.8	1.1	-	-	-
最終消費支出 (%)	2.0	1.2	4.1	2.2	2.2	0.8	0.5	▲0.1	1.1	-	-	-
固定資本形成 (%)	▲1.9	▲1.0	5.8	▲1.1	▲1.3	▲1.5	▲1.6	3.8	2.2	-	-	-
鉱工業生産指数 (%)	2.8	▲0.1	14.0	5.9	0.9	▲2.2	0.9	0.1	0.3	▲0.6	▲0.2	0.3
失業率 (%)	3.2	3.6	3.7	3.4	3.2	3.1	3.0	3.3	3.1	3.0	3.2	3.2
貿易収支 (百万USドル)	5,170	37,866	40,083	31,660	38,338	13,341	13,864	9,340	15,838	7,270	5,025	5,679
輸出 (百万USドル)	422,007	363,534	466,384	555,214	547,870	133,125	139,768	135,350	141,212	48,325	46,704	45,839
輸入 (百万USドル)	435,275	323,085	425,212	524,413	519,584	125,652	129,831	129,684	126,935	42,439	40,714	43,299
為替レート (ウォン/USドル)	1,103	1,276	1,156	1,108	1,127	1,133	1,090	1,085	1,123	1,112	1,137	1,126
生産者物価 (%)	8.5	▲0.2	3.8	6.7	0.7	▲0.2	▲0.9	▲1.9	▲2.3	▲2.6	▲1.4	▲0.9
消費者物価 (%)	4.7	2.8	3.0	4.0	2.2	1.6	1.7	1.4	1.1	1.0	1.0	1.4
株価指数 (1980.1.4 = 100)	1,124	1,683	2,051	1,826	1,997	1,996	1,997	2,005	1,863	2,001	1,863	1,914

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2005年基準、消費者物価は2010年基準

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、統計庁他